

## ローレンス・バークレー国立研究所での滞在を終えて

物理学専攻 博士2年 谷内稜

ALPS 海外派遣制度を利用して、2016年1月3日から3月19日の期間、カリフォルニア州バークレーにある Lawrence Berkeley National Laboratory に滞在し Augusto O. Macchiavelli 氏の研究室で共同研究を行った。Macchiavelli 氏の研究室は励起状態にある不安定原子核から放出される脱励起  $\gamma$  線を測定する検出器の開発においてこれまで中心的な役割を果たしてきており、現在も次世代検出器の開発を積極的に推進している。私は今回の滞在中、複数の国立研究所・大学との共同開発を行っている GRETINA 検出器の  $\gamma$  線検出のプログラムの性能向上に関する研究に携わった。最先端かつ大規模な実験装置を間近に研究できる環境はとて刺激적であり、複数の人が分業しつつも協調して一つの目標に向かっていくという経験を得られたことは大きい。

西海岸の気候のおかげなのか、研究所の雰囲気はとて和やかで居心地がとてよかった。スターバックスの創業者が若いころにアルバイトとして働いていてインスパイアされたという Peet's Coffee というバークレー発祥の老舗コーヒーチェーンのコーヒーを、毎日のように研究室の人がこのコーヒーを淹れてくれ、コーヒー好きの私としては至れり尽くせりな環境であった。

大統領選が熱を帯び始めた時期でもあり、休憩時間の話題に出ることも多かった。ネイティブの英語を聞き取り、研究と関係のない話題で議論に割り込むのはなかなか大変ではあったが、研究以外の側面でも得られた経験は多い。

今回の長期滞在中において、お世話になった数多くの人にこの場を借りて感謝申し上げます。



左写真：研究所から見える夕焼け空。水平線の位置にサンフランシスコのゴールデンゲートブリッジが見える。  
右写真：研究室の方々と午後のコーヒーブレイクの時の写真。写真右下が受け入れ研究者の Macchiavelli 氏。